

青野原

令和2年7月豪雨に伴う災害派遣

令和2年7月豪雨に伴う災害派遣において、第8高射特科群を基幹とする給水・給食支援隊（反橋3佐以下56名）は、7月8日から21日までの間、中部方面生活支援隊の一部として、主に熊本県人吉市及び球磨村において、物資等輸送支援及び生活支援任務を遂行した。また、第302高射直接支援中隊（中尾3曹以下4名）は、7月7日から22日までの間、人吉市を拠点とした入浴支援任務に参加した。

給水・給食支援隊は8日、青野原駐屯地を出発し、第131地区警務隊青野原連絡班（戸谷2尉以下2名）による交通統制の中、安全かつ迅速に被災地へ向け前進した。同日中に拠点となる北熊本駐屯地に到着し活動準備を完了するとともに、直ちに当初配属された第8後方支援連隊の活動方針に基づき各市町村の状況把握を実施、被災者のニーズを把握して支援を開始した。活動内容は、えびの市における食料品等の物資輸送のほか、氷川町役場及び球磨村役場など5か所での給水支援を24時間体制で実施した。総給水量は約12トンであり、給水を求めた市民からは感謝の声が寄せられた。

また、入浴支援隊は7日、同駐屯地を出発し、人吉市保健センターに「京の湯」を展開した。1日平均約30名を受け入れ、利用した一人ひとりに声を掛けるなど真心を込めた活動を実施した。

活動間、各ニーズに柔軟に対応し、被災者に寄り添った派遣任務を完遂して、21日及び22日、派遣全部隊が無事帰隊した。



▲出発前の群長訓示(青野原駐屯地)



▲防衛協会青野原駐屯地連合会からの慰問品受領(青野原駐屯地)



▲第131地区警務隊による交通統制(青野原駐屯地)

九州豪雨に伴う災害派遣任務完遂



▲給水支援(八代市宮原振興局)



▲物資輸送(芦北町)



▲行政機関との調整(人吉市球磨村総合公園)

【発行】
防衛協会青野原
駐屯地連合会
青 桜 会

【印刷】
(株)前田精版印刷

駐屯地司令要望事項
地域と共にある駐屯地
群長統率方針
任務の完遂
群長要望事項
なすべきことをなせ



青野原駐屯地HP

新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程後期修了式

第8高射特科群は、9月23日、駐屯地において「令和2年度新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程後期修了式」を実施し、新隊員25名がそれぞれの中隊へ配属された。

修了式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため来賓の参加を見送り、同駐屯地所在部隊の中隊長らが参加した。国歌演奏に引き続き、配属中隊の人事

発令受け、代表として渡會2士が教育修了申告を行った。

群長は式辞で「本教育で培った知識・技能と同期の絆を基礎として、先輩の指導に基づき更なる技術の向上と体力・気力の充実に努め中隊の一員として、なすべきことをなし、活躍することを期待する」と激励した。



▲ソーシャルディスタンスを確保した式典



▲記念撮影

新隊員所感

私は青野原駐屯地での前期教育を修了し、引き続き後期教育も青野原駐屯地で教育を受けました。新しく青野原駐屯地に到着する同期とは違い、慣れ親しんだ土地での後期教育でしたので、初めて着陸した同期にも進んで様々なことを教えて、すぐに打ち解けることができました。

本格的に教育が始まり、専門的な技術を学んでいくうえで、覚えることがとても多く修得できるか不安になることもありましたが、さすが、同じ班の同期と協力して切磋琢磨することで少しずつ出来るようになり、同期と共に喜びを感じる事が出来ました。

半年間という短い教育期間が終わり中隊に配属されましたが、この半年間で学んだ基礎は今後も必ず自分のためになると思うので、忘れずに日々精進して、立派な自衛官になりたいです。



▲修了証授与



2等陸士
渡會 裕太

方面隊対空戦闘訓練 (個別訓練)

第8高射特科群は、7月13日から17日までの間、航空自衛隊小松基地、同入間基地及び青野原駐屯地において、「令和2年度方面隊対空戦闘訓練(個別訓練)」を実施した。

本訓練は、小松基地において高射中隊による対空戦闘、対空レーダ等による対空監視を実施するとともに、青野原駐屯地において対空戦闘指揮装置を展開し、航空自衛隊統制のもと、シミュレータ目標を使用した対空戦闘を演練し、方面隊の対空戦闘能力及び指揮能力を向上させた。



▲対空戦闘指揮装置内での対空戦闘訓練



▲高射中隊による対空戦闘訓練(小松基地)

338高中 340高中

令和2年度 中SAM部隊訓練 (国内非実射)

第8高射特科群(群長 押川1佐)は、8月31日から9月5日までの間、駐屯地訓練場において、第338高射中隊(中隊長 反橋3佐)及び第340高射中隊(中隊長 平林3佐)に対し「令和2年度中SAM部隊訓練(国内非実射)」を実施した。

今年度の訓練は、新型コロナウイルスの影響で米国内における実射訓練が中止となり、国内で中SAM部隊訓練(国内非実射)として実施され、評価支援隊の支援のもと、射撃能力及び対空戦闘に係る練度等を評価した。

2コ中隊は、猛暑の過酷な環境下での訓練に臨み、全力で任務完遂にまい進し、それぞれ所望の成果を獲得することが出来た。



▲第338高射中隊長による地点指示



▲状況を把握する第340高射中隊長

練成開始当初は、新編成かつ自身初のASPということもあり、苦労する場面も多々ありました。更に追い打ちをかけるように、新型コロナウイルスの影響から、クルーは、「そもそもASPは実施されるのか」という心理状態で練成を余儀なくされ、いかに士気を維持しつつ、訓練にまい進させるかも課題の一つでした。そのような状況下、中隊長の指導を受け、他の訓練との節調を図りながら、訓練及びAARを積み重ね、着実に練度を向上させることができました。この際、過密な訓練日程に文句一つ言わず、滝のよう汗を流しながらやり遂げてくれたクルーに対しては、信頼と感謝の念しかありません。まだまだ不安定なご時世ですが、今回の経験を活かし、来年度も更なる練度の向上に励んでいきたいと思えます。ありがとうございました。

今年度は新型コロナウイルスの影響により国内評価となりましたが、気持ちの切り替えなく、走り抜けた全隊員を誇りに思います。中隊は、「各評価平均98%の獲得」という高い目標を掲げ、これを達成するため教範に基づき器材操作及び基本基礎を年度当初から徹底して練成し、練度向上のための基盤構築を確立させ確実に練度を積み上げその結果、第3回群事前指導では、不十分4件のみと成果が結果として現れ、訪れた国内評価では、前日に「やるべきこと」を共有し、「楽しむこと」を約束して中隊全隊員が同じ方向を向いて戦うことができました。

国内評価に向けて練成してきた経験により、非常に多くの事を学ぶことができました。今回得た成果を教訓に更に精進します。今後ともご指導よろしくお願い致します。

射撃指揮幹部所感



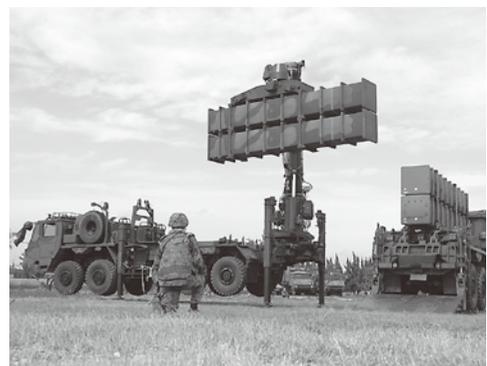
第338高射中隊 TCO 加藤2尉
令和2年度中SAM部隊訓練(国内非実射)に射撃指揮幹部として参加し、中隊は、所望の成果を獲得することができました。この間、中隊の練度向上にご尽力していただいた皆様、本当にありがとうございました。



第340高射中隊 TCO 安達2尉
令和2年度中SAM部隊訓練(国内非実射)に「国内評価」というに参加し、総合評価「概ね優良」の成果を得ることができました。本訓練に至るまでの間、ご指導、ご支援を頂いた皆様、この場を借りて感謝を申し上げます。



▲射撃準備(射撃用レーダ装置)



▲誘導弾の搭載(運搬装てん装置及び発射装置)

302高直支中 令和2年度

小隊訓練検閲

第302高射直接支援中隊(中隊長 林田3佐)は、9月23日から26日までの間、青野原駐屯地及び青野ヶ原演習場において、第4直接支援小隊(小隊長 須藤3尉)に対して、小隊訓練検閲を実施し、一連の状況下での指揮官の指揮、高射中隊の直接支援する野外整備部隊の行動及び隊員の基礎動作について、その練度を確認した。

中隊長は検閲に先立つ訓示において、「指揮の要訣を絶えず実施せよ」「安全管理・物品管理を徹底せよ」の2点を要望し、受閲する小隊の奮起を促した。

初日の夜から雨が激しく降りしきり、泥濘化した地面が隊員の歩行を阻害し、厳しい環境下での整備能力が求められた。

優秀隊員の紹介



SAMレーダ整備陸曹 3等陸曹

秋山 洋平



SAM電気機械整備陸曹 3等陸曹

脇岡 辰樹

検閲となったが、小隊及び各班は相互に連携し、高射中隊の直接支援任務に全力で邁進した。



▲大型車両の故障探求



▲隊容検査



▲射撃統制装置の故障探求



▲第4直接支援小隊長による地点指示

秋の防衛省 交通安全運動

青野原駐屯地は、9月21日から30日までの間、青野原駐屯地において、「令和2年度秋の防衛省交通安全運動」を実施した。

駐屯地所在隊員に対して、一人ひとりに声を掛け、交通安全意識の高揚を図るとともに、交通規律違反者の絶無を目的としてシートベルトの装着、免許証の携行状況の点検を実施し、交通安全の重要性を再認識させた。



▲「ながら運転の厳罰化」に関する資料配布

343 高中

令和2年度 第3次野外行動訓練検閲

第8高射特科群(群長 押川1佐)は、9月24日から26日までの間、青野ヶ原演習場において第343高射中隊(中隊長 松尾1尉)に対して、野外行動訓練検閲を実施し、一連の状況下での各級指揮官の指揮、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作について、その練度を確認した。

中隊は、実際の作戦行動を想定した状況が次々に付与される中、中隊長要望事項「任務の完遂」のもと、終始積極的に任務遂行に邁進した。中隊は、与えられた任務を遂行する高い戦闘力を見せつけ、所望の成果を得た。



▲第343高射中隊長による地点指示



▲射撃準備(捕捉班)



▲開設(通信班)



▲第一線救護



▲戦闘準備(指揮班)

多可町 防衛協会定期総会

多可町防衛協会は、9月23日、中コミュニティセンターにおいて3密対策を処置した中、定期総会を実施した。

総会では、令和元年度収支決算報告及び事業報告の承認、令和2年度の収支予算案及び事業計画案について審議され、いずれの議案も滞りなく承認された。

総会終了後は、兵庫地方協力本部青野原分駐所長による募集説明が行われ、参加者は熱心に耳を傾けた。



▲笹倉会長による挨拶

新着任指揮官の紹介



青野原駐屯地業務隊長
(令和2年8月1日付)

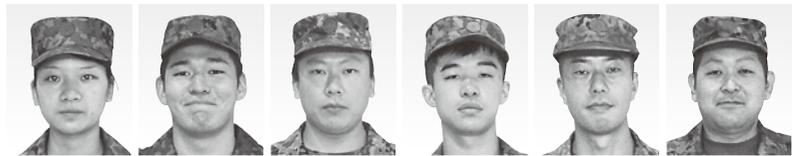
2等陸佐

酒井 昭司

- 出身地：大分県
- 前職務：26普連 副連隊長
- 趣味：読書・キャンプ
- 抱負：

中方勤務は初めてですが、これまでの部隊等における経験を活かして駐屯地全隊員の勤務・生活環境が少しでも向上できるよう努力したいと思います。

優秀隊員の紹介



- | | | | | | |
|---------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|
| 捕捉班
陸士長
岩附 梨恵 | 射撃班
陸士長
佐々木 成道 | 通信班
3等陸曹
坂上 広明 | 指揮班
3等陸曹
橋本 聡利 | 射撃班
2等陸曹
橋口 徹 | 中隊本部
2等陸曹
山中 優来 |
|---------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|

